

ZOOっと平川

動物の赤ちゃんたちの
名前が決まりました!

2020年に誕生したコアラ(2頭)・チンパンジー(1頭)の名前が決まりました!今回はインターネット・郵送・FAXにて募集を行い、51日間で1,027票(3頭合計)とたくさんのご応募をいただきました。ありがとうございました!



コアラ「イツキ」(オス)

母親:イト 父親:パンブラ
令和2年10月11日 出袋



コアラ「ソラ」(オス)

母親:ユメ 父親:パンブラ
令和2年12月29日 出袋



チンパンジー「ライチ」(メス)

母親:イチエ 父親:ラルゴ
令和2年12月21日 生まれ

2020年度に行った研究発表



・研究タイトル/オランウータンの健康管理の事例
 ・発表者/森 香奈
 ・実施日/2021年1月13日
 ・研究会名/令和2年度(公社)日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック飼育技術者研究会(Web開催)
 ・内容要約
 大型類人猿で検診等をする際には、動物の性質上麻酔下で行う必要がありますが、一方で麻酔使用は動物への負担が大きくリスクも高いです。今回は、無麻酔下での検診の幅をより広げられるように、聴診等これまでの取り組みに加え、新たに口腔内チェック・唾液採取に向け開口のトレーニングに取り組みました。



・研究タイトル/チンパンジーをチンパンジーらしく育てる
 ・発表者/福守朗
 ・実施日/2021年2月27日
 ・研究会名/鹿児島市立科学館サイエンストーク
 ・内容要約
 チンパンジーは社会性豊かな動物ですが、幼少時の生育環境が適切でないと本来の社会性を身につけることができません。チンパンジーはチンパンジーの社会の中で育てることが理想です。ただし、未熟児であるなど様々な理由でチンパンジーを人の手で育てざるを得ない場合はどうしたらいいのか?そんなことについてお話ししました。



・研究タイトル/「ヤクシマザルで行っているハズバンダリートレーニングの一例」
 ・発表者/日高 愛子
 ・実施日/2021年3月4日
 ・研究会名/京都大学霊長類研究所第2回技術部セミナー(Web開催)
 ・内容要約
 霊長類のトレーニングに関するセミナーで、ヤクシマザルで2018年4月から行っている健康管理の為にトレーニング(ハズバンダリートレーニング)について、方法や事例(触診、聴診、開口、体温測定、エコー検査、注射、治療等)を映像や画像をもとに紹介しました。

鹿児島市 平川動物公園
 〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
 TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
 ■開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)
 ■休園日:12月29日~1月1日
 URL <http://hirakawazoo.jp/>
 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>
 Twitter <https://twitter.com/hirakawazoo>
 動物取扱業の種別:展示 登録番号:生衛動取 第357号 登録の年月日:H28.5.11
 有効期間末日:R3.5.11 動物取扱責任者:桜井普子

ZOOっと平川 vol.29 2021年4月発行
 編集・発行
公益財団法人 鹿児島市公園公社
 〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
 TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690
 URL <http://k-kouenkousya.jp>
 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

特集1
ルリカケス巣箱調査に行ってきました!
 特集2
飼育員の親バカ写真展
~ウチの子こんなにかわいいんです☆2020年~



ルリカケス巣箱調査に行ってきました!

当園は2009年から「奄美野鳥の会」や上野動物園と共同でルリカケスの域外保全に取り組んでいます。12月9日～11日に毎年恒例の巣箱の調査と整備・繁殖検討委員会などのために奄美大島に行ってきました。



車道から山に入って斜面を登り、設置してある巣箱をチェックします。森にはハブもいるので必ず長靴をはきます。



巣箱にカメラを入れて中の様子を確認します。ハブが住みつくこともあるのでご用心!



古い巣材が残っていたら、全部取り出してきれいに掃除します。アカヒゲ(ヒタキ科の鳥類)が営巣することもあるそうです。



台風で倒れたり、傷んだりした巣箱は修理します。屋根には、巣箱の中を撮影するカメラ用の箱がつけられています。



ドングリを運ぶルリカケス。のどに5～6個入れて運び、あちこちの地面に埋めてかくし、冬場のエサにします。この行動を貯食(ちょしょく)といいます。ドングリが豊作だった翌年は巣立つヒナの数が増えるそうで、ルリカケスにとって重要な食糧なのです。



山の中で見かけたマングース捕獲ワナ。こういった取り組みの結果、マングースの数が減り、ルリカケスやアマミノクロウサギの生息数は回復してきています。

奄美で見かけた動物たち

奄美群島にはたくさんの希少な固有種があります。調査で得られた経験を飼育展示に生かすだけでなく、自然環境保護にも生かしていきたいと思いました。



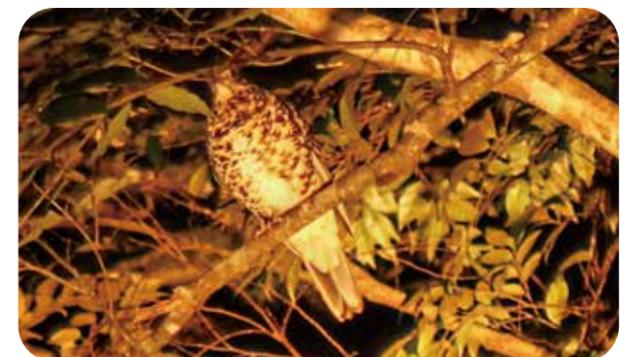
アマミノクロウサギ。夜行性です。



ヒメハブ。おとなしい性格で自分から襲ってくることはほとんどないそうです。



アマミハナサキガエル。奄美大島と徳之島だけに生息する固有種です。



オオトラグミ。樹の枝に止まって寝ていました。

飼育員の親バカ写真展

～うちの子こんなにかわいいんです☆2020年～

2019年に飼育員^{はつあん}の発案で始まったイベントを好評につき第2回目を実施しました。飼育員しか撮ることのできない動物たちの様子・表情をご紹介します！飼育員のスマートフォンをのぞいたつもりでご覧ください！！

▶島のアイドル

今年の4月に生まれたワオキツネガルのヨモギです。この写真は5月13日に撮影したのですが、まさに天使のような1枚です！！
他の個体に、可愛がられながらすくすく成長しています。
現在は、もう少し大きくなりやんちゃ盛りまっしぐらですが、是非ワオキツネガル島を見る時は探して見てくださいね！！



◀クロジャ…じゃない！クロヒョウだ！

緊急事態宣言発令のため、動物公園が休園していた期間限定でクロジャガーとクロヒョウの展示場を入れ換えていました！いつもより高いところから見る景色に見とれるようでした。



▼母親とヒナ！？

ファンボルトペンギンの母親(右)とヒナ(左)のツーショットです。一見、親子には見えませんが、ヒナは成長が早く、生後2か月で母親と同じくらいの大きさになります。体は大ききても、ヒナがエサを食べるときは、母親におねだりする幼い姿を見ることが出来ます。



▲春の日

コツメカワウソのトライ(オス)が遊んでいるうちに桜の花びらがくっついてきました！春だなあ…



◀お昼寝

この様子を見るたびに担当者は「今日は早く帰って早く寝よう」と思います(毎日)

▶お気に入りの木

ナマケモノは外展示場にでるといつも掴まるお気に入りの木があります。イヌマキの木なのですが…室内に帰る前にこの顔をされると、中々「帰るよ～」とは言いづらい担当者でした…(癒しフェイスにたじたじです。)



▲特訓につき、アシカらず

やってみせ、
言って聞かせて、
させてみせ、
ほめてやらねば、
アシカも動かじ



ボルネオオランウータンのポビーは、タワーの上からこんな風景を見えています。山を見て癒されているのか、飼育係の動きを監視しているのか、気になるところです。



◀軟体動物かな？

ふと展示場にいるクロヒョウを見たときに、えっ!?という体勢なの!?と一瞬びっくりしてしまった時の写真です。当の本人はなににも気にしていない様子だったので、そのまま肉球撮影会に移行しました(笑)



◀初めてのお立ち台

当園ではシンリンオオカミのミナとショウを飼育しています。展示場にはガラス面の前に台が設置されているのですが、その上に乗るのはミナだけでした。少し高い台なのでショウは登れないのかなと思っていましたが、この日初めてショウが乗っているのを見ました。ショウはただで乗ったばかりのようでした。ショウの運動能力をなめていました、ごめんなさい…。



体重測定の写真をとるために、いつもより長く体重計に乗ってくれたウサギのドロップくん『まだですかー?』と言われはかりに、得意技の二本立ちでこちらを観察していました♪



ロバたちはときどきフェニーな表情で飼育員を幸せな気持ちにしてくれます♡

▼おいしそう～!

どんぐりの寄付をバケツいっぱい頂きました。ありがとうございます。エゾヒグマのナズナが目を輝かせて喜んでいたので思わずパシャリ。写真を撮った後にいくつかあげたらおいしそうに食べてくれました。



▲意地悪じゃないよ

クマたちは、寝室でご飯をもらいますが、飼育員はワザと餌を食べにくいように置いたりします。これにはちゃんと理由があるんです。どうしても単調になりがちな寝室での時間を、少しでも楽しく!過ごしてもらいたいという気持ちからなのです。今日も飼育員は、「どこに餌を隠してやろうか(笑)」と悪だくみしています。



▲カバ(♀)のナナミです。

展示場清掃後のプールで気持ちよさそうにしています。カバ担当をしていて、一番大変な仕事はプール清掃です。水を吸ったカバの糞はとても重く、運ぶだけでも一苦労です。時には、「やりたくないな」なんて思うこともあります。こんなに気持ちよさそうにしてもらえるなら頑張れます！今日もナナミと龍馬のためにお掃除頑張ります!!





▶視線を感じて見上げると

夏の暑い日、朝一番にハナジカ舎ではわいていと、上からじー……。こはなまだかなの熱い視線のハナジカたちに青空バックで素敵一枚です。汗ダラダラになりながらもハナジカたちに癒されてかんはれました。



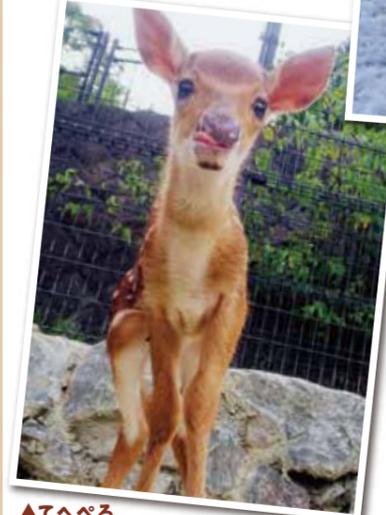
◀バクの鼻

世界バクの日にツイッター上でクイズ祭をすべく、撮った写真。ブラジルバクのキョントーるか、木の葉をむしって取るための上唇と合体した筋肉質の鼻だということが分かるように意識してくれたかのような一枚です!



▲ソーシャルディスタンス?

休園中の動物公園の一コマ。マールたちがソーシャルディスタンスを意識しているのか素晴らしく均等に並んでいました。



▲てへぺろ

8月12日世界ゾウの日に誕生したハナジカのダンボる。あざとかわいいです♡

▼寝ているだけじゃない! ~コアラの(秘)能力~

寝ていることが多く、お腹もぼたっとしているコアラですが、実はとても筋肉質な動物なんです。数十メートルの木を登れる腕力を持っており、前脚の力だけで木にぶら下がり、全体重を難なく支えます。その体制のまま後ろ足を器用に使う余裕の毛づくろい。寝ているだけじゃない!コアラの能力にも注目してみてください。



▲ジャブジャブザバーン

ブラジルバクのキョントーるとルーシー♀の二頭は、梅雨時期の雨の中でも仲良くプールでジャブジャブザバーン!!足がつかない深いプールでもへっちょらです!



▲この動物はなに?

ブラジルバクのユメゴロウを正面から撮るとこんな顔。素敵写真撮ろうとするも、近すぎたいつもこんな感じ...でも癒されませんか??



◀キリン熟睡中

朝キリン舎にきたらハヤテが首をたたくで寝ていました。いびきはかいておらず、なかなか起きません。生きてるのか心配になりましたが体がゆがみに動いて安心しました。キリンは立ったまま寝ると思われがちですが、安心した環境では座って寝るそうです。それにしてもめったに見る姿ではないですし、こんな体勢で寝ると知ることができました。これからも安心してすごしてくれるようにしたいです。



▲つん

カピバラのツン♀。つん!としているこの表情。この鼻の下の感じが、私はキュンです(笑)



▲ヤクシマザル舎の天使(ピース♂)

夕方ヤクシマザルたちの様子や消灯施錠の確認をして、いつも通り「おやすみ〜また明日ね〜」と声をかけ退室しようとした時の様子です。しばらくこの様子だったので、なかなか帰るに帰れない担当者でした。

▼おはよう〜

いつも掃除をしに部屋に入るとリリイ♀さんは「おはよう〜」と言わんばかりに、小屋の中から顔を覗かせてくれます。こちらも「リリイおはよう〜」と声をかけるのが毎日のお決まりになっています。この日はあまりの可愛さに、写真を撮った1枚でした(笑)



▲日向ぼっこ

愛嬌たっぷりのアイぢゅん。天気がいいから展示場で何をしているかな?と思って様子を見に行くと、擬木の上で気持ちよさそうにくつろいでいました。



▶授乳中

ハナジカの授乳シーン。仔ジカのダンボは、お乳を飲みながらも尻をピンと立てます。お母さんジカはそこをべろべろして排泄をうながします...でもお母さんジカはカメラを向ける私に気がなるみたい。なので、一瞬で撮影しました。



人工哺育で育ったモルモットのホットケーキちゃん。ミルクを卒業したあとも、手のひらを近づけると乗ってきてくれる甘えん坊です!

▶オシドリヒナ

フライングケージではへびに卵が食べられてしまうため、毎年オシドリは人工的に孵化させて育てています。生まれてから1ヶ月が過ぎると、みるみる大人の羽に生え変わるので、こんなにふわふわな姿が見られるのはとても短い期間です。



▼天敵見張り中!

ミーアキャットは猛禽類などの天敵から身を守るために、群れの中の一部の個体が見晴らしの良い高い所で見張りをする習性があります。いつもは丸太に乗っていますが、この時は展示場内で一番高い樹木の上まで登って見張りをしていました。



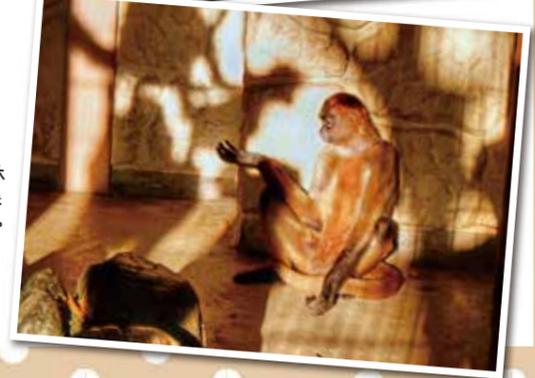
▶朝、アフリカ園で乾草を食べているシロサイのシノさんとシマウマのコリン。

仲良く食べている姿をカメラに収めようとパシャパシャ撮っていると、「なにしてるの〜」と同時にこちらを見してきました。2頭とも口にははい入れてもぐもぐしているのが、なんとも可愛い!!一瞬で心を奪われた担当者でした。



▶朝日に照らされた影とのコラボレーション

日の出とともにジェフロイクモザル達は展示場のフェンスに登り、ひなたぼっこしています。クロー君、壁に寄りかかり、ぼつんと座っています。ちょうど、ジェフロイクモザルの影がクロー君の手の上に乗っているタイミングで撮ったものです。



▶一緒にモグモグ

3月生まれのマールのココアるの幼き写真。大人と一緒にモグモグ!ほほえましいです。あつという間に大きくなった今は恋しいです(笑)



チンチラにあんこちゃん。扉が開くと、「エサですか!!」と喜んでこちらにやってきますよ!

オリジナルお守りを プレゼントしました!

年末年始に動物園ならではのオリジナルお守りを配布しました。



オリジナルお守り

6日間、先着15名様限定で配布した様々な動物のオリジナルお守り。金運アップのヘビ皮キーホルダー、ウンが付き?ゾウのフンから作った紙のお守りなど、計5種類をご用意しました。小瓶に入った鳥の羽のお守りには、「飛翔運」「モチモチ運」等、鳥の性質に合った運勢が書かれていて、おみくじ気分を味わっていただきました。

獣医、飼育員が
手作りしています



開園時間前から、入園口で並んで待っているお客さまもいらっしゃるほど、連日大好評でした。

どうぶつ学習館で
先着順に選んで
いただきました



一番人気は
ライオンの
たてがみ
でした!

百獣王運



すべらない!落ちない!お守り

12月21日から3月21日までの3か月間は受験シーズン真っただ中ということで、受験にすべらない!落ちない!お守りを配布しました。「滑り止め」効果のある肉球や、樹上性の木から「落ちない」動物たちをあしらったお守りです。平川動物公園は、がんばる受験生を応援しています!

今年は新たに
"落ちない!
レッサーパンダ
お守り"が
仲間入り



「サポーター制度」

で体重計とミキサーを 購入させて頂きました!

ご協力ありがとうございます!
サポーター制度を利用して物品購入をしました。
どのように利用しているのか紹介します。

体重計

体重を知ることが動物の健康管理をする上でとても重要なことです。

購入させていただいた体重計を使ってクロヒヨウのセピアの体重を量りました。

クロヒヨウの平均体重より少しだけ少ない事がわかったので、エサを増やしたいと思います。

これからもクロヒヨウだけでなく、他の動物の体重も量り健康管理に役立てていきます。

体重計に
乗れたご褒美に
お肉を
もらったよ!



体重は
27.5kg
でした!



ユーカリペスト製作用ミキサー

コアラはユーカリのみを主食とする動物です。ただ葉っぱしか食べないので、採食不良時にエサを与える方法がないと、痩せて体調が悪化してしまうこともあります。動物に薬を与える時、普通はエサに混ぜますが、ユーカリの葉に薬をつけても、コアラは食べません。そこで歴代のコアラ担当者が工夫を重ね、ミキサーですりつぶしたユーカリの葉を与えはじめました。狙いは的中し、ペースト状のユーカリを好んで食べてくれるようになりました。おかげで、栄養補給や投薬ができ、今では欠かせないものになりました。今回はサポーター制度を利用し、老朽化したミキサーの交換用として購入させていただきました。コアラたちの健康を支える縁の下の力持ちとなる機械です!

ペーストをおいしそうに
食べるコアラのイト



▲ミキサーを購入させていただきました

平川動物公園サポーター制度とは

動物公園のさまざまな取り組みをご理解いただき、飼育環境の充実や園内の利便性向上のための費用や物品を皆さまから支援していただき、動物公園の魅力を高め、多くの皆さまに親しみを持っていただくための制度です。詳しくは平川動物公園のHPをご確認ください。

どうぶつ

ZOO 館



ボルネオオランウータン

ボルネオオランウータンは、ボルネオ島の熱帯雨林(ジャングル)に住んでいて、高さ30~40mの木の上で、群れを作らず一頭でくらしします。ヒトにとっても近いオランウータンには、不思議なヒミツがいっぱい。



●足より長い手

高さ30~40mの木の上でくらすので、木の枝から枝へ渡るための長い腕をもっていて、にぎる力もとても強いんだ。動物公園では、木の枝の代わりにロープを上手に渡るよ。



●強いオスはほっぺがぷくらむ

オスはおとなになると、ほっぺに『フランジ』とよばれる大きなひだができるんだ。これは、実は強いオスしかできなくて、一度できたら元に戻ることはないよ。



●毎日ベッド作り

野生では夕方になると、毎日木の上で枝を使ってベッドを作るんだ。ポピーは、木の上で寝ないけど、夕方近くなると麻袋や木の枝、葉を使って寝床みたいなものを作る様子が見られるよ。

●知能が高い

オランウータンは、ヒトに近い種でとても頭がいい。物を使うことも得意なんだ。野生では雨が降ってきたら大きな葉っぱを傘がわりに使ったりするけど、動物公園のポピーは、麻袋をかぶってカッパ代わりにするよ。麻袋は、風が強い時や寒い時にもかぶったり、地面にして敷物としても使うよ。



あかちゃん紹介

むぜもんじや

むぜもんじや: 鹿児島弁でかわいいねの意味

トカラヤギ ホルス/ジャージ(2頭ともオス)

生年月日: 2020年12月28日

こんな動物

分類: 偶蹄目 ウシ科
 原産地: 鹿児島県トカラ列島
 食性: 草食

まるで牛のよう!?



生まれて間もないうちは耳が垂れています。太くしっかりとした脚やその顔はまるで牛のようでした。生まれて10分も経たないうちに自力で立ち上がりました。オトナとは異なり、甲高い声で鳴きます。

放飼場デビュー!



独り立ちまでもう少し

じゃれあいながら元気よく跳ね回り、遊び疲れると寄り添ってお昼寝をします。生まれて1週間ほどで草も少しずつ食べるようになりましたが、生後2~3か月の間は母親からお乳をもらう様子も見られます。

生後3か月になると、母親から離れ、オス群れでの生活が始まります。まだまだ母親にべったりと甘えているので少し心配ですが、2頭ともたくましく育ってほしいです。

ワオキツネザル(性別不明)

生年月日: 2021年2月3日

こんな動物

分類: 霊長目 キツネザル科
 分布: マダガスカル島南部
 主食: 果実、木の葉、昆虫(雑食)

ヨシノがお腹に赤ちゃんをしっかりと抱いているのを発見しました。

毎日、エサを与える時確認します。ヨシノにしっかりと抱かれ、時々「キュルキュル」と鳴き声を上げています。手前にいるのは昨年4月に生まれたお兄ちゃんのヨモギです。



群れの大人たちも赤ちゃんに興味津々!



体をなめたり、ヨシノに寄り添ったりと協力してくれます。ヨシノの横に座っているヨーコはヨシノのお母さんです。いつもヨシノを気にかけてくれるベテランお母さんです!! みなさんもぜひ、観察してみてくださいね。背中に乗っていたり、1頭で行動している様子が見られるかも!?